

哀歌 4:22 「おとめシオンよ、悪事の赦される時が来る。再び捕囚となることはない。」
【新共同訳】

「許し」と「赦し」、同じ意味のようですが、聖書はこれを使い分けています。「許し」というのは、一定の条件がそろえば許すということ。例えば「許可」がそれです。いっぽう「赦し」とは、無条件、とがめない、ということ。用例としては「恩赦」をあげることができるでしょう。

私たち人間関係の中にあるのは、「許し」がほとんどのような感じがします。無条件とか、そういうのは本当に難しい・・・といいますか、条件付きならあり得るけども、無条件はとても出来ないことです。

だからイエス様の十字架による「赦し」です。罪を消し去る救いの恵み、これがどんなに大きなことか、改めて思わされることです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ

赦-許

《主の祈り》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わせず、惡より救い出し給え。國と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《使徒信条》。

私は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。私はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより來たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。私は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英國で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けていた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2019年3月17日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org
4872 Bishop St, Cypress, CA 90630
Facebook: オレンジ郡キリスト教会
ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。
確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。
イザヤ43:19

☆集会案内☆

日曜礼拝	: 09:30-10:40
ブレイク	: 10:45-11:00
バイスタ	: 11:00-12:00
みふみ会	: (水) 10:00-
定例祈祷会	: (水) 18:30-

